

岸 掌を上に向けて五指の指頭を左にさした右手を「水面」として表わし、その前に掌を下に向け五指の指頭を右にさした左手で、なだらかな丘陵を描いて岸を表わす。

氣質 心——癖

期日 「何月何日」の手まねでよし。

汽車 先ず煙突の手まねの要領で煙を表わして、掌を内側に向け五指の指頭を左にさした右手を汽車の車輻として、こまかく上下に動揺させながら左へ移行させる。

記者 新聞——「作家」と同じ要領の手まね。

徽章 人差指と親指でつくった輪を領の上につける。即ち、帽章を表わしたもの。

キス（接吻）人差指と親指で輪をつくった両手を二人の口唇になぞらえて、二つの輪を口の前でつけ合わす。

疵 赤（血）を表わしてから、人差指で頬

（或は疵したところ）を切る真似。

汽船 (4) 煙—船

(4) 片手「船」の形にして、その手首のところ、もう一方の五指を集めた手をスクリーンを表わすつもりでぐるぐると廻す。

競う 指頭を上にした両手の親指を胸の前で対立させ交互に上下させる。

規則 右手の人差指と中指をかぎに曲げたので左手の掌の上を叩たく。

北 指頭を上にした両手の人差指を併立させてから、夫々左右に「」を描く。即ち「北」の文字の輪郭を表わしたもの。

期待 未来^大楽^しい^待つ

汚ない 指頭を上にした人差指で鼻梁横を上下にこする。油じみて鼻梁のふちのよこれを表わす。

貴重 「惜しい」「大切」と同じ。

貴遠い 五指の指頭を集めた両手を頭の右

側に持って行き、互の爪先きをつけ合わせ
て、ねぢる。そして次に、両手で虚空を掻き
むしる真似をする。頭の中がねぢれて、狂っ
た様。

切手 右手の人差指と中指の指先を口許に
持って行き、唾をつける真似をして、左の掌
の上に切手を貼りつけるように、二指を置く
屹度 「必ず」(何)と同じ手まね。

切符 (何) 右手の人差指と中指で缺とし
て、掌を上に向けた左手を缺で切る真似。(何)
両手で切符を持って、もじり切る真似。

狐 影芝居で狐を見せるのと同じ、親指の
指頭に中指と薬指の指頭をつけ、人差指と小
指を立てる。

忌日 死んだ——月日

絹 「蚤」同じ手まね。

希望 未来——幸せ——あこがれる——楽しい
牙 指頭を前方にさした人差指を曲げた両

手を口の両脇につけ、牙を模倣する。

記念 「憶える」と同じ手まね。

昨日 手の甲を前に向け指頭を上にした
右手の人差指を(一の数)を右肩越しに後方
へ押しやる。「一つ過去」のこと。または、
「寝る」の身振をして「一つ過去」とする。
きまり(決っている)「規則」と同じ手ま
ね。

決める 「解決」と同じ手まね。

着物 掌を内側に向け五指の指頭を上にした
した両手を同時に、右手は右肩から左へ斜め
下に左手は左肩から右へ斜め下に降り、着物
の襟を表わす。

疑問 「怪しむ」と同じ手まね。

規約 掌を上に向け五指の指頭を右にさし
た左手を下に、掌を下に向け五指の指頭を左
にさした右手を上にして、共に親指を除く他
の四指を曲げて両手をつなぎ合わせます。